



No. 102 2021.1.22

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

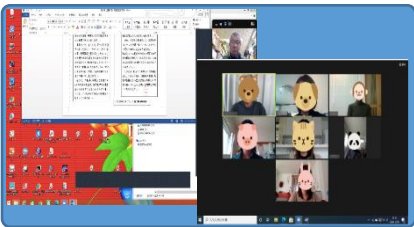
明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

二見北小 50 周年記念誌オンライン編集会議に参加させていただきました

1月13日(火)10時から開かれた二見北小50周年記念誌編集会議がオンラインで開かれました。コロナの感染拡大により、2度目の非常事態宣言が発令されようとしている中ですが、顔合わせを行った第1回をのぞき、第2回目以降はオンラインでの会議を積み重ねてこられたとのこと。今日はその第6回編集会議の様子を見学させていただきました。無料版 Zoom を利用しての編集会議のため、40分という時間制限がありますが、40分を2セットにし、途中休憩をはさみながら最大60分という時間設定で工夫し会議を進められているようです。編集委員の皆さんはもうオンラインが特別なものではなく、ごく自然に会議を進められているのを見て、改めて昨年1年間での社会の変化を実感しました。



編集会議の内容は集まった原稿の校正で、画面を共有しながら気が付かれたことを出し合われていました。この段階でレイアウトと校正がここまでしっかりしておけば後が楽になるなと思いましたが、これまでの編集委員長さんの段取りは大変だろうなと・・・。

しかし、リアルな集まりであれば、家から学校の往復の時間や準備・片付けの時間も必要になってきますが、オンラインであれば、その時間で会議を終えることができるということは編集員さんにとって負担は軽くなるなと感じました。オンラインとか対面とかは言葉だけのものであってコミュニケーションをとるには関係なく、「オンライン=対面」という認識が当たり前になる時代がそこまで来ているような気がします。そしてこれまで何回かオンラインの会議を経験する中で感じたことですが、リアルに集まったの会議よりも、集中して効率的に話が進んでいくのではと感じています。

二見北小のオンラインでの編集会議も編集員の皆さんがとにかく前に進んでいこうということで、オンラインを実践されているのを見て、ふと昨年5月11日に文科省が開いた「学校の情報環境整備に関する説明会」で高谷浩樹初等中等局情報教育・外国語教育課長が発せられたメッセージが頭に浮かんできました。

もう一度このメッセージを読み返し、頭の中に置いておくだけでも違った発想がでてくるかもしれないのではと思います。

今は前代未聞の非常時・緊急時 なのに危機感ない。
ICT、オンライン学習は学びの保障に大いに役立つ
のに取り組もうとしない。

使えるものは何でも使って、
家庭のパソコン、家族のスマホ
できることから、できる人から、
「一律にやる」必要はない
既存のルールにとらわれず臨機応変に、
「ルールを守ること」は目的ではない
何でも取り組んでみる。
現場の教職員の取り組みをつがさない

姫路ではこんなことが始まっています

姫路に GEG Himeji という先生方の自主的な研修グループがあります。

Facebook からの情報では、GHG Himeji で“臨時休校も視野に入れたアイデア出し” という取組が始まっています。 ※GHG Himeji=Google 研究者グループで姫路市の自主的研修グループ

Facebook より（Facebook からの情報をそのまま参照させていただいています）

◎1/11 発信 【臨時休校も視野に入れたアイデア出し協力のお願い】

こんばんは。大阪、兵庫、京都 3 府県の緊急事態宣言の発令の検討に入ったとのニュースが入りました。地域によっては独自に休校を決める自治体も出てきています。

昨年 of 突然の緊急事態宣言が思い出されます。当時は GEG Himeji も設立前でしたので、不安の中ここにいらっしゃる様々な方々に電話しまくって、なんとか日々を凌ぐように対応していた毎日でした。しかし、この 1 年で GEG Himeji が生まれ、G suite LAND で学び合ったり、それぞれの現場で試行錯誤を重ねるみなさんこうしてオンラインで集い、知恵を結集させてくれたことが何よりの大きな変化だと感じます。今後、何か大きな動きがあつてからではなく、今のうちにできることをしておきたい。市教委からの指針を補完するように備えておきたい。手の内にカードをもった状態に対応していきたいと考えています。（臨時休校にならなくとも、家庭での ICT 活用を考えるヒントがたくさん見つかるはず。）

GEGHimeji のみなさんの知恵を今一度お借りできないでしょうか。具体的には、毎週水曜日の 21 時から 1 時間程度アイデア出しをしていきたいと思ひます。（計 4 回ほどを予定しています）蓄積がある今年は、去年とは違つて逆にできることが多くなることで、何をするのかを“絞る”のが難しいという状況も生まれるようにも思ひます。

「いま倒しておくべきセンターピンはどこなのか」をアイデア出しの中で見つけていきたいと思ひます。出たアイデアは、ドキュメントなどに整理しておき、参加の有無に関わらず皆の共有財産とできればと思ひます。

◎1/14 発信【臨時休校も視野に入れたアイデア出しミーティング.vol.1】

ご参加いただいたみなさまありがとうございます。

姫路市としては、臨時休校はなさそうですが、敢えてそこも視野に入れてアイデアを出し合うことで、射程を広げて話し合うことができました。

緊急事態宣言発令で、目まぐるしく状況が移っていきますが、不安を抱え込まず、情報を共有しながら、少しでも楽に打ち手を考えることができればと思ひます。下記ドキュメントは、1 時間の中で出た【今のタイミングでやれること・やっておいた方が良さそうなことアイデア集】です。作成して下さつたみなさまにも快諾いただきましたので、まだまだ途中段階ですが、共有したいと思ひます。今のタイミングでできそうなことがかなり挙がっていますのでぜひご覧下さい。

- 何か大きな動きがあつてからではなく、今のうちにできることをしておきたい。
- 手の内にカードをもった状態に対応していきたいと考えています。
- 臨時休校にならなくとも、家庭での ICT 活用を考えるヒントがたくさん見つかるはず。
- いま倒しておくべきセンターピンはどこなのか
- 今のタイミングでやれること・やっておいた方が良さそうなことアイデア集

Facebook での情報を読みながら、待つのではなく、こうした戦略的な視点を持ちながらできる事を準備していこうという姿勢を持ちたいなと感じているところです。この指とまれで方式で当事者意識を持った中での学校づくりが始まっているように感じました。

また、改めて SNS を活用し、つながりを広げ、オンラインで対話を深めていくなど、つくづく時代の流れを感じているところです。

（文責：北本）